



名張市は、児童生徒の登下校の交通安全確保を目的とした活動を平成24年から取り組んでいる。同年に市内小中学校通学路の「緊急合同点検」を関係機関で実施し、対策の内容を協議した。27年3月に関係機関の連携体制を構築するとともに「名張市通学路交通安全プログラム」を策定し、継続できる活動の手法をまとめ

## PDCA手法を導入 通学路の合同点検で安全確保

学校・保護者の事前点検も

発行 桔梗が丘自治連合協議会  
連絡先 桔梗が丘市民センター  
TEL 65-1206  
FAX 65-1206  
Eメール info@kikyogaoka.jp  
5,720世帯・13,860人  
(2017年6月1日現在)

平成28年度の合同点検では、桔梗が丘の小中学校通学路危険箇所数は41だった。内31箇所(対策確認は29年8月の合同点検で)。別表で桔梗が丘の対策一覧表の一部を掲載する。

関係機関の連携を図る「名張市通学路交通安全推進会議」のメンバーは次のとおり。

学識経験者、名張市PTA連合会、三重県伊賀建設事務所、名張市企画財政部、名張市都市整備部、名張市地域づくり代表者会議、名張市中学校校長会、名張警察署、名張市地域部。事務局は教育委員会。

**取組方針と手法**

①基本○通学路の交通安全確保の活動を継続する○合同点検は実施時期を決めて実行する○点検、対策、効果、改善の

活動の取組は「PDCAサイクル」手法で通学路の安全性の向上を図る

②合同点検の流れ○合同点検の実施前に学校・保護者等による通学路の現状把握(事前調査)調査を依頼(5月・7月頃)↓合同点検調査の体制は、学校、地域、保護者、道路管理者、警察、教育委員会。実施は学校から提出された危険箇所を合同点検する。(7月・8月頃)

③対策検討↓実施↓効果の把握↓改善・充実「PDCAサイクル」手法で通学路の安全を確保する。

### 通学路共同点検・対策一覧表 Bグループ【平成28年度実施】

桔梗が丘小学校		合同点検日:平成28年8月31日 点検での危険箇所 計4箇所			
路線名	箇所名・住所	通学路の状況危険の内容	要望・点検内容	対策内容	対策年度
市道八幡工業団地地域	蔵持町里(ファミリーマート桔梗が丘西店向かい)	歩道が狭い	曲がり角が特に狭い	電柱移設の検討	H28完了
市道八幡工業団地地域	桔梗が丘西1の交差点(ヤオヒコ前交差点)	歩行者信号が無い	店舗前交差点に十字路用信号あり 歩行者信号は2方向	利用状況をみて検討	H29以降
	西地区全域	路面標示が消えかけている	特にインターロッキングの道路標語が消えている。	道路表示の塗り替え 道路表示の塗り替え	H29以降 H28応急対応
桔梗が丘南小学校		合同点検日:平成28年8月4日 点検での危険箇所 計3箇所			
市道桔梗が丘52号線	桔梗が丘5-6(新神戸電機寮の交差点)	車がスピードを出して通る道の交差点。歩行者は覗き込まないと安全の確認ができない	ポストコーンの設置 交差点の手前に注意喚起の路面表示	セブラ帯にポストコーンを設置してたまり場を確保 看板の設置	H28完了(維持) H29・8月確認
市道桔梗が丘中央線	桔梗が丘5-5(鳴滝公園前の交差点と岸井歯科前交差点)	横断歩道があるが車がスピードを出して通る	注意喚起の路面表示	ひし形と停止線、横断歩道の塗り直し 路面表示(スクールゾーン)の塗り直し	H29以降 H29・8月確認
桔梗が丘東小学校		合同点検日:平成28年8月4日 点検での危険箇所 計15箇所			
市道桔梗が丘西原町線	桔梗が丘4番町(木野整形外科前道路)	通勤時間にスピードを出して通る車が多い	カーブミラーの増設	設置基準外(視認性)のため設置出来ない	
市道桔梗が丘61号線	桔梗が丘4番町(旧ナカフドから線路沿いへの道)	通り抜けの車が多い 止まれの表示箇所では止まらない	見通しが悪いので対策を望む	一時停止線あり 看板設置による通学路の喚起	H29以降
市道桔梗が丘71号線	桔梗が丘7番町(公団付近十字路)	左側の確認がしにくい(車の侵入)、路上駐車できずに確認ができない	カーブミラーの増設	設置基準外(視認性)のため設置出来ない	

点検箇所を明確にする目的で店名などを記載しています

# 今日も行く所がある、今日もする事がある

## 日々お元気の秘訣

桔梗が丘自治連合協議会と桔梗が丘地区民生委員児童委員協議会が主催する「高齢者のつどい」が5月28日に桔梗が丘市民センターで開催され、今年で第20回を数えた。この日は80歳以上の高齢者161人が出席、57人のスタッフがおもてなしを務め、楽しい90分を過ごした。

高齢化が進むとともに出席者が年々増え、昨年はスタッフの席が不足した。今年は食事のメニューを工夫して高齢者の傍に席を共にした。

主催者が開始のあいさつで「今日も行く所がある、今日もする事があるがお元気の秘



フラメンコを楽しむ

訣」と出席者を励ました。

今年の演芸はフラメンコで始まった。名張市民センターのサークル「emiフラメンコグルッポ」の7人が、音楽に合わせ情熱的な踊りを披露した。続いて桔梗が丘地区まちな保健室のスタッフの指導で「みんなで体操」で身体をほぐした。歌謡ショーでは桔梗が丘南に在住の歌手・桜咲（さくらざき）りえさんが、あてやかな振り袖姿で登場。河内おとこ節に始まり豊漁節などパッチの効いた5曲で会場を沸かせた。

### シャツクリ川のほたる 環境に変化？光はまばら

桔梗が丘自治連合協議会の快適環境部会が毎年ファンを楽しませている「ホタル観賞会」が、今年6月10日に開催された。観賞会後半のシャツクリ川での観賞会では、お目当てのホタルの光がまばらで期待した参加者を悔しがらせた。

第14回の観賞会は午後7時に桔梗が丘南市民センターで座学から始まった。講師は主

催者が務め、住宅街でホタルを観賞できるのは珍しい、シャツクリ川はゲンジホタルだけど近くの鳴滝池でヘイケホタルを見たことが有るなどの話と、プロジェクトでクイズを挟みながらホタルの生態を説いた。

今年は朝方の気温が低く梅雨入りも遅いので気候が不順といわれている。ホタルの生育に異変が起きているのではの説もあるようだ。

日本海新聞によると、ホタルの名所として人気の鳥取市上町の公園では、19年前から観賞会を開催してきた。2007年には4200匹を越えたが、翌年から減り続け今年4月に確認できた幼虫は約40匹だった。観賞会は中止したと報じている。ホタルの減



### 夏期巡回ラジオ体操 8月11日(金・祝)

会場：名張市民陸上競技場  
(雨天時：名張市総合体育館 室内の履き物持参)

午前  
5:30 開場、挨拶、リハーサル  
6:30 全員でラジオ体操第1、2  
全国生放送  
放送局：NHK第1放送  
周波数：名古屋 729 KHz  
大阪 666 KHz  
上野 1,161 KHz



少しは全国に広がっているのかもしれない。

### 桔梗が丘公開連続講座

#### 人工知能と共に

#### 生きる近未来

桔梗が丘市民センターでは毎年、身近なテーマでその道の専門家を招いての「公開連続講座」を開催してきた。今年のテーマはよく耳にする「人工知能」。簡単にいえば、機械に学習させて人間と同じように判断ができ、目的に対応できる機械のこと。すでに人工知能で株の取引が主流になっているという。

5月には人工知能全般の講座があった。今後の4回は分野を自動運転、囲碁・将棋、小説、医療に絞って開催する。今後の予定はつぎの通り。開講時間は13:30〜15:00。

8月6日(日)

自動運転を支える

コンピュータ／

ロボットビジョン

豊橋技術科学大学助教

大石修士氏

9月2日(土)

囲碁と将棋の例から

人口知能(AI)を考える

公立はこだて未来大学教授

松原 仁氏

11月18日(土)

コンピュータが小説を書く日

AI作家に賞はとれるか？

名古屋大学大学院教授

佐藤理史氏

1月28日(日)

人工知能(AI)と医療

医療画像による

人体の総合理解

奈良先端科学技術

大学院大学教授

佐藤嘉伸氏